



品番 0216

取扱説明書 **mimi**

おでかけ三輪車 わくわくアンパンマンごうピースII

ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。また、読み終わった後も大切に保管してください。

セット内容

! 組立ての前に、必要な部品がそろっているか確認をしてください。
※組立て前の部品に異常や破損、不足が見られましたらお客様相談室までお問い合わせください。

⚠️ 小さな部品が含まれます。誤飲等の恐れがありますので、お子さまのいない所で組立ててください。



●保護者の方へ ~必ずお読みください~



⚠️ 注意

- 乗車前の点検として、ハンドル・車輪・サドル・ペダルにガタつきや緩みがないことを確かめてください。
- 使用対象年齢は1才半児から4才児(4才11ヶ月)までが望ましい。(身長77cm~100cm)
- 初めて一人で使用する幼児については、保護者が使用上の注意を指導し、保護者のもとで遊ばせてください。また幼児の足が地面及びペダルに確実に着く事を確かめてからご使用ください。
- 長期のご使用でネジやナットが緩むことがあります。定期的に締め直してください。
- 故障の原因にもなりますので砂場や水たまりで使用しないでください。
- 押棒、足乗せステップ、セーフティガードは自分で三輪車をこげない幼児のための補助具です。幼児の足が地面及びペダルに確実に着き、自分でこげるようになりましたら押棒、足乗せステップ、セーフティガードを外してください。取外した部品はお子様の手の届かない所に保管してください。
- 屋外で使用された後は直射日光を避け、雨ざらしにしたり水をかけないでください。
- 火気のある所、高温の場所は変形、故障の原因にもなりますので近づけないでください。

⚠️ 警告

- 素足で車輪に巻き込まれると危険ですので、三輪車に乗る際にはお子様に靴をはかせてください。
- 安全のため、押棒はお子様に触らせないようにしてください。また保護者が押棒を操作する際にはお子様の足が巻き込まれないよう注意してください。
- 幼児がサドルの上に立ち上がらないように注意してください。また押棒に寄りかかると三輪車と共に転倒する危険があります。十分に注意してください。
- 三輪車は構造上、ハンドルを切った時やペダルを踏み込んだ時に転倒することがありますのでご注意ください。
- 幼児の足が地面に十分着かない状態で使用しますと転倒する危険がありますので、大人が付き添ってください。
- 車輪の周囲や回転部分には手や足を入れないようにしてください。
- 坂道や車両の交通量が多い所では使用しないでください。
- 斜面及び段差のある場所、転落の恐れがある場所では乗らないでください。
- 二人乗りなどの危険な乗り方は絶対にしないでください。
- 足のせステップの上に立たないでください。また乗車時の踏み台にしないでください。
- セーフティガードを開閉する際は必ず保護者が操作を行い、回転部分にお子様の手が巻き込まれないよう、注意してください。
- 押棒を付けた状態で使用する時は、必ず足乗せステップを取り付けて使用してください。
- カゴフレームのみ(布カゴを外した状態)では使用しないでください。また、布カゴ及びカゴフレームの取り外しは保護者が行ってください。
- 布カゴに鋭利な物を入れないでください。布部分が破れる恐れがあります。また、この布カゴは専用部品です。他の用途に使用しないでください。
- 布カゴに荷物を出し入れする際は、必ずストッパーをかけた状態で行ってください。
- お子様を乗せたまま三輪車を持ち上げないでください。
- 時々手入れ点検をして、故障及び破損したままで使用しないでください。
- 三輪車以外の目的で使用しないでください。
- 業務用・団体等で使用しないでください。
- 小さな部品があります。組立てる際、誤飲の恐れがありますのでお子様がそばにいない状態で行ってください。
- 梱包用の袋で遊ばないでください。窒息の危険があります。
- セーフティガードの上に乗ったり無理な力をかけないでください。

日頃のお手入れ

- 本体や車輪に付いた泥などの汚れは、柔らかいブラシや布で拭いて落としてください。ひどい汚れは布に水や中性洗剤を薄めた物をふくませてぬぐった後、乾いた布でよく拭いてください。(シンナー・ベンジンなど揮発性の物は使用しないでください。)
- 前車輪の軸受け・ハンドル金具の回転部分・後車輪の車軸にのみ、家庭用のマシン油か自転車用油等を3ヶ月に一度程度、少量注油してください。
- 布カゴが汚れた場合は手洗いしてください。洗濯機は使用しないでください。
- 布カゴは色落ちの可能性がありますので、他のものと一緒に洗わないでください。

品番 0216

おでかけ三輪車 わくわくアンパンマンごうピースII 取扱説明書

製品に関するお問い合わせ

エム・アンド・エム株式会社 お客様相談室
受付時間：9：00～17：00（土日、祝日を除く）
0120-078815（フリーダイヤル）

販売元 **エム・アンド・エム株式会社**
本社 〒542-0072 大阪市中央区高津1丁目10番14 TEL.06-6761-1500(代) FAX.06-6761-7677
本社代表アドレス E-mail:web@mimi.co.jp **www.mimi.co.jp**

わくわくアンパンマン おでかけ三輪車 わくわくアンパンマンごうピースII

取扱説明書 **mimi**

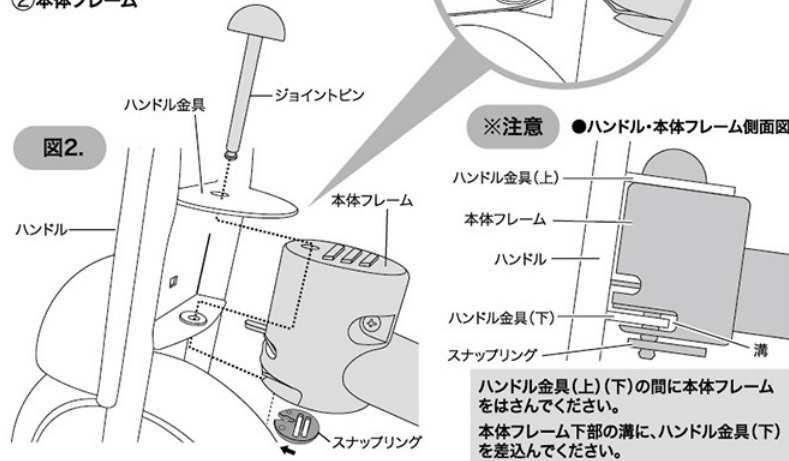
組立て方



組立ての前に、説明書オモテ面の「セット内容」で必要なパーツがそろっているか確認してください。組立ては必ず大人が行ってください。組立てが完了したら梱包材は廃棄、またはお子様の手の届かない所に保管してください。

1 ハンドルの取付け

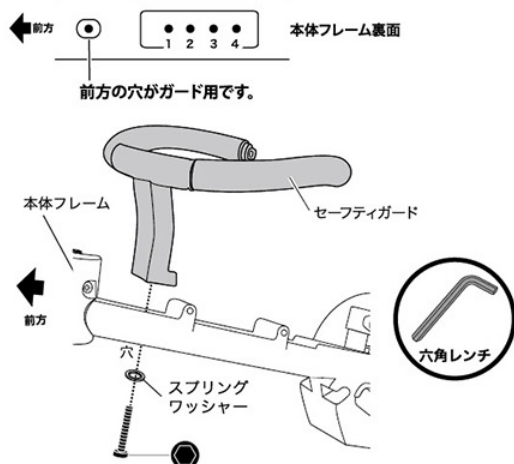
- 組立てに必要なパーツ:
①ハンドル
②本体フレーム



- 本体フレームに取付けられているスナップリングを外し、ジョイントピンを抜いてください。
- 図1のハンドル背面の穴に、本体フレームのヘッド部分から出ている金具を差込みます。
- 図2のようにハンドル金具、本体フレームにジョイントピンを通し、根元まで差込みます。ジョイントピン下部の溝にスナップリングをはめて固定してください。

2 セーフティガードの取付け

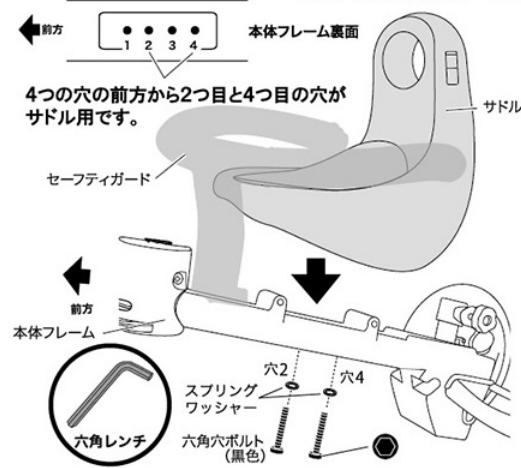
- 組立てに必要なパーツ:
④セーフティガード ⑨六角レンチ
⑫六角穴ボルト(黒色)1本 ⑰スプリングワッシャー1個



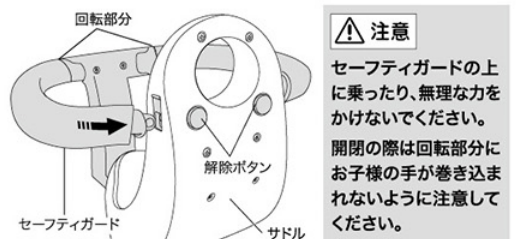
- 六角穴ボルト(黒色)※ボルトの頭が六角形に凹んでいます
- 本体フレームの穴位置を確認してガードを取り付けます。
 - 本体フレーム裏面の穴にスプリングワッシャーと六角穴ボルト(黒色)を差込み、付属の六角レンチで締めてください。

3 サドルの取付け

- 組立てに必要なパーツ:
③サドル ⑨六角レンチ
⑫六角穴ボルト(黒色)2本 ⑰スプリングワッシャー2個



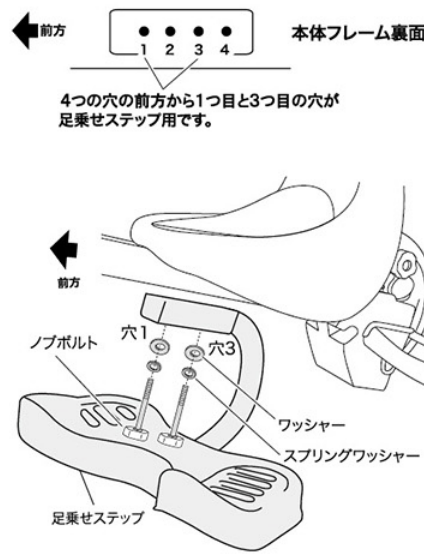
- 本体フレームのガード後ろにサドルを置きます。
- 本体フレーム裏面の穴にスプリングワッシャーと六角穴ボルト(黒色)を差込み、付属の六角レンチで締めてください。



- サドル後部の丸い解除ボタンを押しながら、ガードをサドル側面の穴に差込みます。
- ※ガードを開閉する際は解除ボタンを押しながら行ってください。

4 足乗せステップの取付け

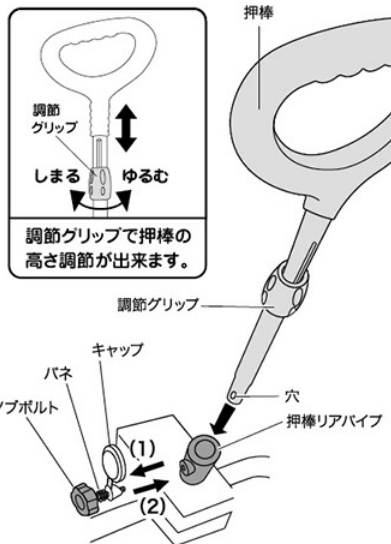
- 組立てに必要なパーツ:
⑥足乗せステップ ⑬ノブボルト2個
⑯ワッシャー2個 ⑰スプリングワッシャー2個



- 本体フレーム裏面の穴と足乗せステップの取付け穴を合わせます。
- ワッシャーとスプリングワッシャー、ノブボルトを差込んでしっかりと締めてください。

5 押棒の取付け

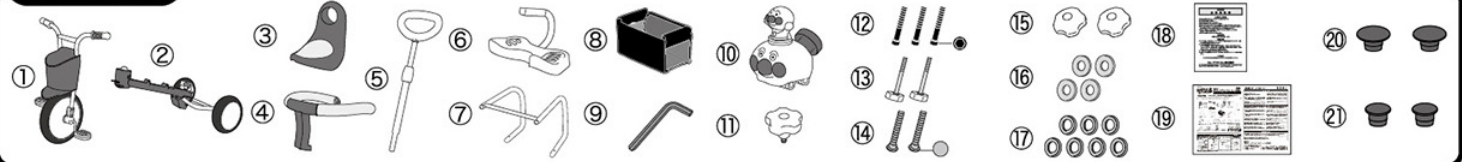
- 組立てに必要なパーツ: ⑤押棒



- ▲注意 転倒の恐れがあり危険ですので、押棒に荷物などを乗せたり、下げたりしないでください。
- 押棒リアパイプに取付いているノブボルト・バネ・キャップを取ります。
 - 押棒下部の穴が左側になるように押棒リアパイプに差込み、キャップ・バネ・ボルトを取付けてしっかりと締めてください。

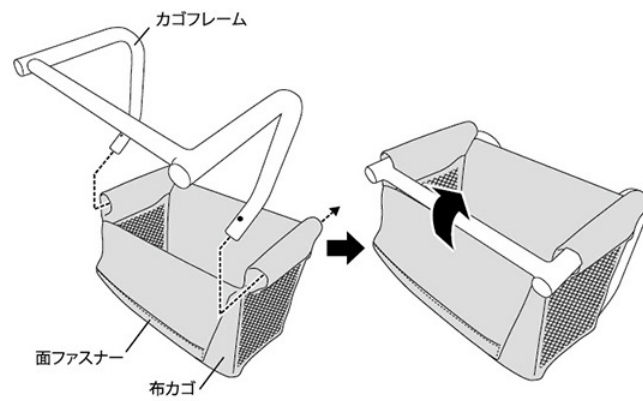
セット内容

※各パーツ名は説明書オモテ面に記載しています。また組立て説明書内に「組立てに必要なパーツ」として番号とパーツ名を記載していますので確認してください。



6 布カゴの取付け

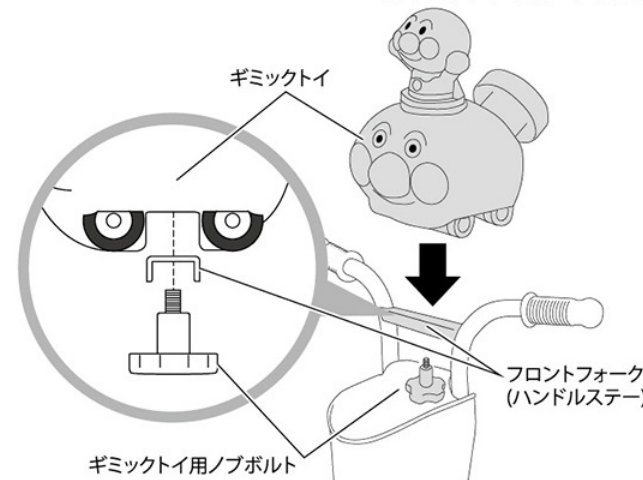
- 組立てに必要なパーツ: ⑦カゴフレーム, ⑧布カゴ



- 布カゴにカゴフレームを取り付けます。
- 面ファスナーをフレームに巻き付ける様に取り付けます。

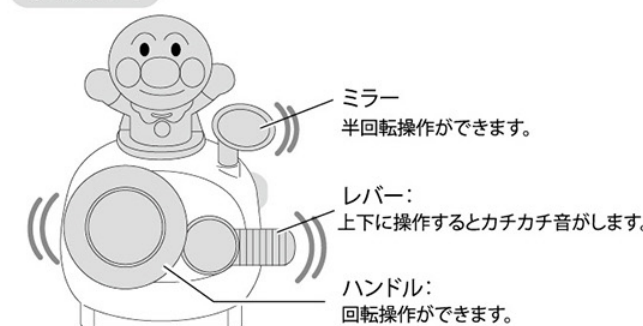
8 ギミックトイの取付け

- 組立てに必要なパーツ: ⑩ギミックトイ ⑪ギミックトイ用ノブボルト



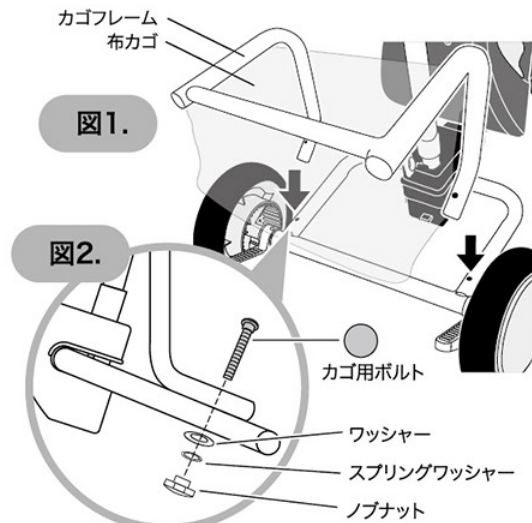
- ギミックトイをフロントフォークのハンドルステーに取り付けます。
- ハンドルステー裏面からギミックトイ用ノブボルトを差し込んでしっかりと固定してください。

ギミックトイ



7 カゴフレームの取付け

- 組立てに必要なパーツ:
⑭カゴ用ボルト2本 ⑮ノブナット2個
⑯ワッシャー2個 ⑰スプリングワッシャー2個



先に必ず“(6)布カゴの取付け”を行ってください。

- 図1のように本体フレーム後部のパイプの上にカゴフレームを乗せます。
- 図2のように上からカゴ用ボルトを差込み、下からワッシャーとスプリングワッシャーを通してノブナットでしっかりと締めてください。

完成図



各部を軽く操作してしっかりと組み付けられているか確認してください。

▲ 事故を防いで安全に楽しくご使用頂くため、説明書オモテ面の注意事項を必ずお読みください。